

# 給食だより

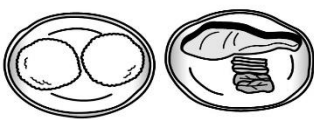
1月  
舞鶴市立福井小学校

1月24日から1月30日は、**全国学校給食週間**です。  
学校給食の歴史を振り返ってみましょう!



明治22年、山形県の小学校で始まったとされる学校給食。戦争によって中止されながらも、さまざまな歴史をたどり、現在まで続いています。「全国学校給食週間」は、戦後、アメリカの支援団体からの援助により、学校給食が再開されたことを記念して定められたもので、学校給食の意義や役割について理解を深め、関心を高めることを目的としています。当時の代表的な献立を一例に、学校給食の歴史をご紹介します。

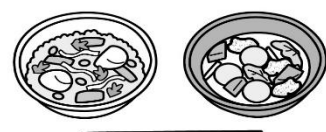
明治22年(1889年)



【おにぎり、焼き魚、漬物】

山形県の私立愛小で、お弁当を持ってこられない子どものために食事を提供したのが、日本の学校給食の始まりとされる。

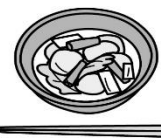
大正12年(1923年)



【五色ごはん、栄養みそ汁】

9月1日に関東大震災が発生。義援金により給食が実施され、学校給食の価値が広く認められるようになる。

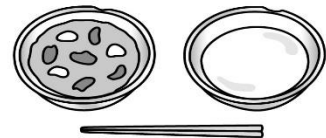
昭和17年(1942年)



【ずいとんのみそ汁】

昭和16年に太平洋戦争が始まると、食料が不足し、全国的に給食が中止され始める。昭和19年に6大都市の小学生に特別配給物資による学校給食が実施される。

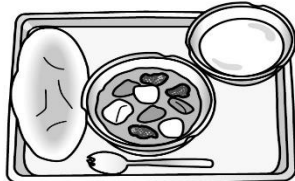
昭和22年(1947年)



【ミルク(脱脂粉乳)、トマトシチュー】

昭和20年に戦争が終わり、子どもたちの栄養状態を改善するため、この年から支援物資による学校給食が全国で開始される。

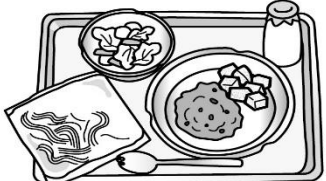
昭和25年(1950年)



【コッペパン、ミルク(脱脂粉乳)、カレーシチュー】

アメリカから寄贈された小麦粉で8大都市の小学生に「パン・ミルク・おかず」の完全給食が実施される。

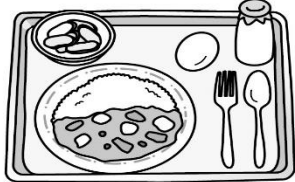
昭和40年(1965年)



【ソフトめんミートソース、牛乳、フレンチサラダ】

昭和38年に「ソフトめん」が登場。また、昭和39~43年ごろにかけて、脱脂粉乳から牛乳へと切り替わる。

昭和51年(1976年)



【カレーライス、牛乳、塩もみ、ゆで卵】

米飯(ご飯)が正式に導入される。当初は炊飯するための設備が整わず、おかずを作る釜でご飯を炊く施設が多かった。

そして、現在は...

子どもたちの食習慣の乱れ、偏った食事による肥満や生活習慣病の増加が心配されることから、学校給食は、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために、さまざまなことを学ぶ「生きた教材」としての役割を担っています。

## 給食がみなさんの口に入るまでに

- 米、麦、野菜、果物を作る人
- 牛、ぶた、にわとりを育てる人
- 魚やわかめをとる人
- 食べ物を運ぶ人
- パン屋さん、牛乳屋さん、八百屋さん、魚屋さん、豆腐屋さん
- 栄養を考えて献立を作る学校の栄養士
- おいしく食べて欲しいと願いながら作る調理員さん



たくさんの人々の努力があって給食ができています。

## 手洗いういず



食中毒を予防するために、皆さんができることに「手洗い」があります。次の文章の□の中に下から選んだ言葉を入れて、文章を完成させましょう。

食事をする前や、家に帰ったとき、□をさわるとき、トイレの□、動物をさわったときに、せっけんをよく□立てて手を洗いましょう。□は短く切り、学校には毎日きれいな□を持っていきましょう。

ハンカチ あと 食べもの あわ つめ



## やってみよう! 正しい手洗い

ここをしっかりと洗おう!



## 小学校ではこんな取組をします!

1月17日水曜日のきずなタイムで給食委員会から『噛むことの大切さ』について発表を行いました。カミカミクイズを行い、噛むとどんな良いことがあるか説明をしました。1月の給食では給食の歴史や地元ゆかりのある献立、日本の伝統食材である乾物を使用した献立、様々な国の料理が登場します。食事の大切さやマナーを見直し、学級では栄養について学習します。給食員さんや業者さんに各学年で工夫し、感謝の気持ちも伝えます。